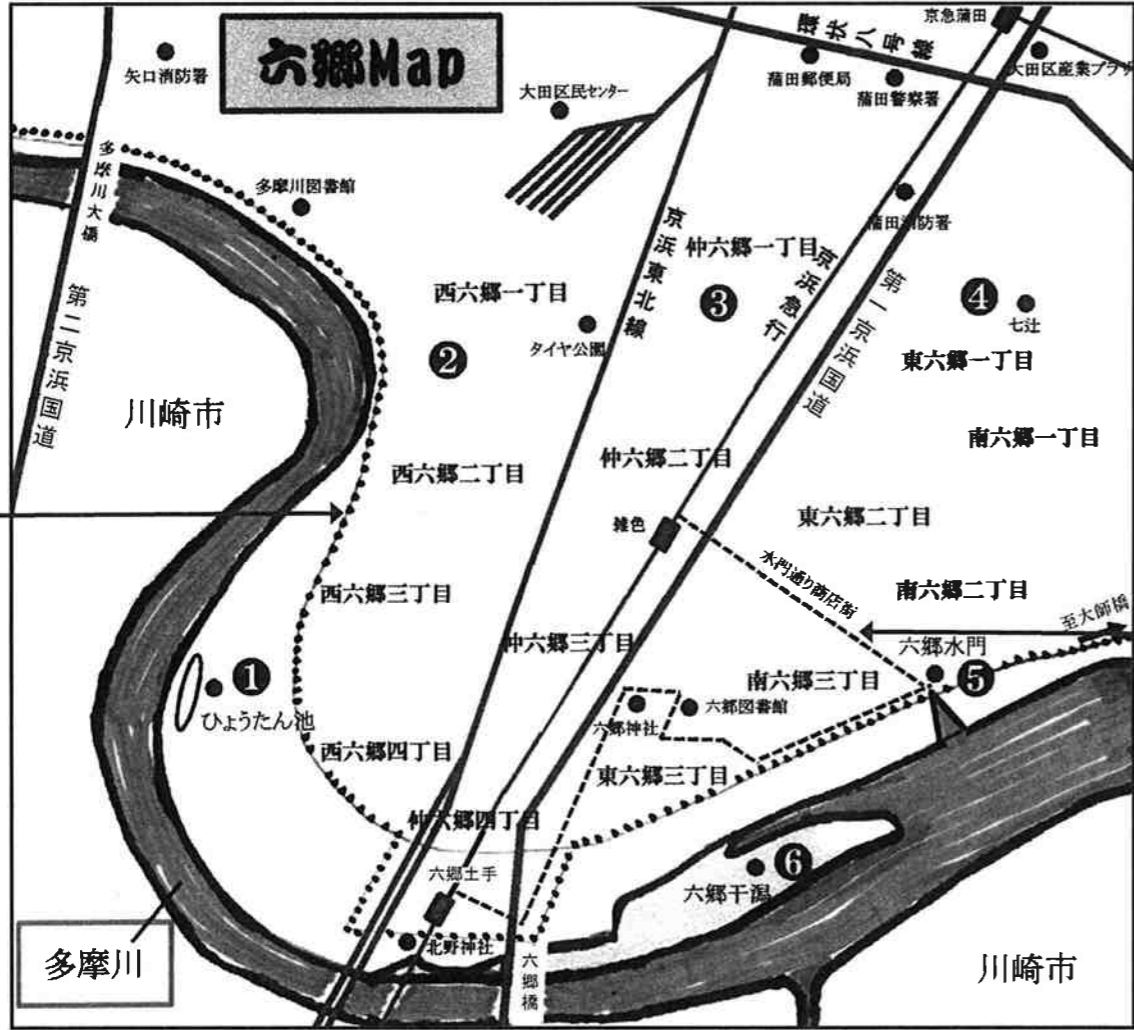


六郷特別出張所管内	
人口	男 32,979 名
	女 30,999 名
	計 63,978 名
世帯数	31,310 世帯
平成23年 6月 1日 現在	

六郷わがまち

発行：地域力推進六郷地区委員会
 編集：「六郷わがまち」編集委員会
 事務局：大田区六郷特別出張所
 〒144-0055 大田区仲六郷 2-42-2
 電話 03(3732)4885 (代)
 FAX 03(3735)6249



六郷の魅力！再発見！

- ① 魚がいるよ！六郷『ひょうたん池』
- ② 路地裏の『豆花火師』
- ③ 子どもたちの『小さな夏旅行』
- ④ 夏は、涼しい『かき氷』
- ⑤ 六郷水門の『釣り船』
- ⑥ 六郷干潟で羽を休める『野鳥たち』

..... 詳細は裏面で紹介します。



夏の風物詩

わが街で見ることが出来る多くの夏の風物詩の中から、今回は六か所を取りあげてみました。散歩をかねて、でかけてみませんか。



多摩川サイクリングロード（六郷ゾーン）

→→(多摩川大橋)→管理事務所→六郷橋緑地→六郷水門→(大師橋)→→

六郷ウォークキングコース* 1

京急・雑色駅→水門通り商店街→南六郷緑地→

六郷水門→六郷土手→六郷神社→六郷橋→北野神社→京急六郷土手駅

*1 所要時間：休憩時間は含まず、散歩程度の早さの徒歩だけで30~40分。

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

NEWS: 4月1日付で、六郷特別出張所の新所長に「白根 睦正 (しらね のぶまさ)」氏が就任されました。

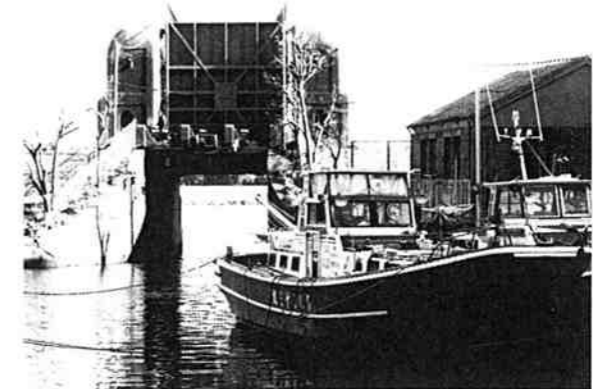
④ 夏に涼しい「かき氷」

を、そんな「氷」を造り
続けて六十四年。優れた
冷凍技術を基盤として、さまざまな
商品を提供してきた蒲田製水冷蔵株
式会社。同社は京浜地区における唯
一の氷供給源で、東六郷一丁目にあ
ります。原料水に純水装置で不純物
や添加物を取り除いた高純度の水を用
いるため、硬く溶けにくく、透明感の
ある安全で安心な高品質の水を製造。
谷川連峰の天然水や伊豆赤沢水深
八百以上の海洋深層水を用いた氷も製
品化。ここに来ると、
かき氷が食べたくな
り涼風が体の中を通
り抜けます。



「六郷水門」は、本年、その完成か
ら八十周年を迎え、大田区の近代化
を示す貴重な文化遺産です。
現在、水門から始まる雑色運河は、
四分の三が埋め立てられて、南六郷緑
地として区民の憩いの場になりました。

⑤ 東京周辺の住宅化が進んだ昭和初
期、六郷も著しく発展。流出する生
活用水も増し、大降雨の時などは排水
しきれず、浸水する地域も...。
そこで、六郷町(現六郷地区)は雑
色地内に水門の新設を決議。昭和六
年四月三十日に「六郷水門」が竣工
します。以後、下水道が完備するま
で六郷用水の末流である池上・矢口・
羽田の一部と六郷のほぼ全域の排水を
受け持ちました。



手前が釣船、その先が開門中
の水門、奥は多摩川

残った水路を船溜まりにしているのが
水門通りにある「ミナミ釣り船店」で
す。四艘の釣り船が、初夏にはシロギス・
メバル・カサゴなど羽田沖を始め東京湾
の旬を
楽しま
せてく
れてい
ます。

③ 仲六一・二町会と、東六一・二
町会の四町会が共同して毎年当番町
会を決め夏休み子どもたちを観光バ
ス三台に乗せて目的地に行く日帰り小
旅行です。昭和五十四年から三十二
年間も続く夏の恒例行事。

過去の代表的な旅行先を紹介する
と、最初の武蔵嵐山溪流、その後、
西沢渓谷・葛西臨海水族園、近くは
六郷ミナミの釣り船で潮干狩りへも。
やがてPTAも当番を受けもち、神奈
川県立地球博物館・武蔵丘陵森林公
園・船橋アンデルセン公園などへも。
今年はどうへ。



① 西六郷・高畑町会の西に位置し多
摩川緑地運動場にある小さな人口池、
通称「ひょうたん池」。同好の主たち
が魚を解き放ち、釣り人で賑わう。
昭和五十年代、野球場、サッカー
場を整備する時、そばの自然に出来
た溜め池に護岸工事を施し、誰でも
安全に近づけるようにしたのがきっか
けで、瓢箪状の人工池が誕生した。
周囲には小さな花壇もあり、夕方
には、カモなどの多くの鳥が羽を休め
る。散歩にぜひ一度訪れてみてはいか
かですか。



やがて、日が落ち、そこかしこの
路地裏から、花火の音とともにち
びつ子達の賑やかな声が聞こえてき
ます。豆花火師たちを見る大人た
ちの笑顔が光ります。微笑ましい
夏の光景です。

② 夏の風物詩の代表格は、祭りや盆
踊り、そして夜店に並んだ風鈴・ほお
ずき・朝顔かな。しかし何と言っても
欠かせないのは、花火。夏休みが始まっ
て間もなく西六一町会防火部とPTAが
手伝って、矢口消防署指導による花火
教室が開かれる。映画を観て消防士
の話を聞き帰りに花火のお土産。



思い思いの豆花火師たち

訂正とお詫び

前回発行第53号の「趣味の道
に終わりなし」記事で、誤りがあ
りました。

- ①(誤) 目黒 正次
(正) 黒岩 正夫
- ②(誤) ババア
(正) 婆

訂正してお詫び申し上げます。



カルガモの親子もたくさん見られます
写真：成田保氏
「六郷干潟の野鳥たち」より

⑥ 多摩川河口、羽田空港から上流へ
4km、南六郷三丁目付近にあるのが
南六郷緑地(朝のラジオ体操が行われ
る通称ブタ公園)の川崎方面に對面し
ているのが六郷干潟です。
ここでは年間六十種を超える野鳥を
観ることが出来ます。特に夏にはアオ
サギ・ダイサギ・コサギに、カワウや
ウミネコなどの大型の鳥に、コアジサシ・
アオアシシギ・メダイチドリなどの小型
の鳥たちも多く集まっています。アシ
原ではバン・オオヨシキリ・セッカなど
が特に主役は親子で泳いでいるカルガモ
です。